

It is a good thing for an uneducated man to read books of quotations.

Winston Churchill

教育を受けなかった者は、名言集を読むがよい。

ウィンストン・チャーチル
(1874～1965)

ブルドックのようであり、どこか愛嬌のある顔。そして、葉巻に山高帽とステッキ——。誰もが知っている、イギリスの政治家。第2次世界大戦中、戦時内閣の首相として、対独戦に勝利した。文筆家としても一流。趣味では絵画もよくした。独特のウィットとユーモアでも知られた。

西はりまライオンズクラブ

人間学セミナー

令和三年十月十三日

英国の名言に学ぶ

講師 三木 英一

英国名言に学ぶ

多胡吉郎著より

(PHP研究所刊)

英国で最も尊敬される偉人は誰か——？

伝統と歴史を誇り、きら星の如くに幾多の偉人を輩出した国ではあるが、最大の国民的偉人となれば、間違いなくこの人になる。

ウィンストン・チャーチル。

ヒトラーとの戦争を粘り強く闘い抜き、勝利に導いた戦時内閣の首相であった。数年前にBBC（英国放送協会）が英国偉人ベストテンを選ぶ特集を組んだ時にも、二位以下に大差をつけてトップの座を射止めたのは、この人だった。

その英国最大の偉人が、「名言」について語る名言を残した。「Quotations」は辞書的に訳せば「引用句辞典」だが、実際には偉人たちの名言を集めたものなので、「名言集」とした方がわかりやすい。意味を汲み取って訳し直せば、「高等教育など受けずとも、人は過去の名言に学べ」と、こんな感じになる。

教育問題について質問された首相が、そう答弁したら議会はもめるだろうが、実はチャーチル自身がオックスフォードにもケンブリッジにも縁のない陸軍士官学校出身だったので、この言葉は自らの体験を踏まえて語ったものなのである。

面白いではないか。英国史に燦然と輝くナンバーワン首相は、大学ではなく、名言集に学んだのだ。

名言に学んだおかげが、チャーチルは演説の巧みなことでも知られた。そればかりではない。なんと、第二次大戦回顧録ではノーベル文学賞まで受賞している。軍事に秀でた首相は、英国史に残る文人宰相でもあった。

名言とは、まずは何よりもロジックの世界である。思想の彫りを深くし、対句だの比喩だの、レトリックの鮮やかさのなかに立体的にたちあげる。名言は、人間の叡智が生む、思想と言葉のタワーのようなものだ。

さすがに未曾有の国難を乗り越った人物だけあって、チャーチルは、名言の力というものをきちんと見抜いていた。危機に直面するなか、思想と言葉のタワーは、熟慮と英断にずいぶんと寄与したはずである。

さて、現代はかつてない情報過密社会で、人は限りなくインスタントになった。また、ヴィジュアル・イメージが優先されて、政治家は言葉を磨くよりも、テレビ映りを気にするようになった。

Experience is not
what happens to
you; it is what
you do with
what happens.

Aldous Huxley

経験とは、何が起こるかという
ことではなく、起こることを
どう処するかということである。

オールダス・ハックスリー
(1894~1963)

小説家、詩人、批評家。代表作「すばらしい新世界」では、個の自由を認めない近未来の管理社会をSF的に描くなど、多くの前衛的手法の作品を発表した。眼病の治療のため、後半生はアメリカ・カリフォルニア南部に住む。ケネディ大統領が暗殺された同じ日に、ガンで没した。

To err is human,
to forgive, divine.

Alexander Pope

過ちは人の習い。
赦すは神のわざ。

アレクサンダー・ポープ (1688~1744)
18世紀の詩人、批評家。生来体が弱く、学校教育は受けなかったが、独学でギリシャ、ローマの古典に親しみ、イギリスに古典主義を確立。代表作に「批評論」「人間論」など。簡潔で流麗な詩文は定評がある。人間を深く見つめた、鋭い警句も多い。スウィフトの友人で、「ガリヴァー旅行記」の出版に尽力した。

Thank God.
I have done
my duty.

Horatio Nelson

神に感謝する。
我はわが義務をまっとうせり。

ホレイショ・ネルソン (1758~1805)
世界史上最も偉大な海軍提督と言われ、内外の尊敬を集める。ナポレオンの派遣したフランス、スペイン連合艦隊とトラファルガー沖に戦って勝利した。ロンドンの中心部には海戦勝利を記念したトラファルガー広場があり、50メートルを超える柱の上に、この人の像が立っている。

二〇〇五年はトラファルガー沖海戦から二百年ということで、イギリスではエリザベス女王も臨席する記念行事が賑々しく催された。英軍を勝利に導き、ナポレオンの英本土進攻を阻止したネルソン提督は、不世出の英雄として称えられた。

今回の言葉はそのネルソン提督の臨終の言葉——。ネルソンは海戦に勝利したものの、自身は被弾して、洋上に戦死したのである。

この言葉を正しく理解するには、海戦の開始に臨んで、ネルソンが全軍に向けて放った言葉を知らなくてはならない。

「England expects that every man will do his duty. (英国は、各員がその義務をまっとうすることを期待する)——」。

義務を果たせど、全兵士にネルソンは語って、熾烈な戦いの火ぶたを切って落としたのだ。自身の死に臨んで、彼は再び義務 (duty) を口にした。明らかに、開戦に当たって将として発した指令に呼応する形で、彼は自らの生を閉じたのである。

おのおのが担う義務をそれぞれまっとうすることで、総体として大いなる力をなし、事が進む。一艦に於いてもそうであろうし、艦隊全体にしる、軍を動かす戦闘についても、理屈は同じだろう。

ネルソンは軍務ひと筋の石頭でも朴念仁でもなく、実は愛人問題なども抱えて私生活は決して平坦ではなかったが、公の大義の道となれば、勇猛果敢に義務に生きて迷うところはなかった。一七九三年以来、フランス軍と各地に転戦して、右目、右腕を失っている。

同じく「義務」を語りながら、世にある名言集で引用されるのは専ら先の開戦の言の方で、臨終の言葉はその陰に隠れてしまいがちだが、私に言わせれば、後者の方が断じて重く、尊い。

義務を果たせ、とは、上に立つものなら誰もが口にする。現に、会社の社長などで、開戦時のネルソンの言葉を座右の言としてホームページに載せるような例はいくつもある。だが、トップ自らが率先して義務を果たし、その命まで捧げるようなことは稀だ。ネルソンの言葉のポイントはそこにある。

驚くべきことに、この臨終の言葉は、勇猛の将としてはさらりとして、シンプルこの上ない。大仰な感じや、自分に酔ったような感じが微塵もない。

あくまでもクールに、道理を見極めた上で発せられている。しかも、一兵士と全軍の将と、立場は異なれ、義務を果たすことが等価に扱われている。死が、人にとって等しく絶対的なものであるように……。

企業から国まで、およそ人の上に立つ者は、このネルソンの言葉の真意を噛み締めてほしいものだ。

I know I have the
body of a weak
and feeble woman,
but I have the
heart and stomach
of a king, and of
a king of England
too.

Elizabeth I

確かに、私は女として、か弱く
華奢な体をしています。しかし、
その心と胆力は王者のものであり、
しかもイングランド国王のもの
なのです。

エリザベス1世 (1553~1603)

女王を戴く時、英国は栄えるというジンクスを
作った不世出の大女王。治世45年の間に、国を
発展させ、輝かしいエリザベス朝時代を築く。生
涯独身を買き、国と国民を牽引した。スペインと
の戦いに臨んで国難を乗り切る女王の姿は、ケイ
ト・ブランシェット主演で映画にもなった(「エ
リザベス」1998年)。

All the world's
a stage,
And all the men
and women
merely players.

William Shakespeare

世の中は、すべてこれ舞台。
男も女も、人は皆、ただの演じ手。

ウィリアム・シェイクスピア
(1564~1616)

人類史上最高の劇作家。37に及ぶ戯曲作品は、
今なお不滅の輝きを放つ。そのセリフはほとんど
詩のレベルに達し、人生を穿った名言となるもの
も多い。ロンドンには、シェイクスピアが活躍し
た劇場グローブ座が当時のままに復元され、上演
を続けている。

To be or
not to be:
that is
the question.

William Shakespeare

このままでいいのか、
いけないのか、それが問題だ。

ウィリアム・シェイクスピア
(1564~1616)

All traveling
becomes dull in
exact proportion
to its rapidity.

John Ruskin

すべての旅は、その速さに
正比例して退屈になる。

ジョン・ラスキン (1819~1900)

美術評論家、社会思想家。帝国主義的、産業経済
優先の世の風潮に異を唱え、19世紀英国を代表
する良心の知識人として、内外に多大な影響を与
えた。トルストイは、「自身の心で考える稀有な
人物」と称え、真珠王・御木本幸吉の息子・隆
三は、傾倒のあまり、銀座に「ラスキン文庫」を
開いた。

We read to
know that
we are not alone.

C. S. Lewis

The good life is
one inspired by
love and guided
by knowledge.

Bertrand Russell

よき人生とは、愛に啓発され、
知識に導かれるものである。

バートランド・ラッセル (1872~1970)
数学者、哲学者。ホワイトヘッドとの共著「数学
原理」で、記号論理学の基礎を築く。平和運動で
も有名。第1次世界大戦の時に非戦論を主張して
ケンブリッジ大学の教職を追われて以来の、筋金
入りの平和主義者だった。ノーベル文学賞も受
賞。98年の長い生涯に、4回結婚をした。

私たちが本を読むのは、
自分が独りではないことを
知るためである。

C・S・ルイス (1898~1963)

「ライオンと魔女」を始めとする7つの物語から
なるファンタジー小説「ナルニア国物語」の作者
として知られる。大学で英文学を教えるかたわ
ら、執筆を続けた。児童文学賞であるカーネギー
賞を受賞。現在、シリーズ全体の映画化が順次進
められている。